２０２３年（令和５年）　７月２６日　水曜日

デーリー東北　１２面　掲載

第105回全国高校野球選手権青森大会

光星 攻守に盤石

扇の要 藤原躍動

一発含む3安打3打点に好リード

【準決勝・八学光星－青森山田】4回八学光星無死、藤原天斗が左越えに本塁打を放ち、2－0とリードを広げる

①八学光星の正捕手・藤原天斗が一発を含む3安打3打点と好リードを見せ、青森山田バッテリーの攻撃を封じ、配球を巧みに切り替えて、ソロ本塁打を含む4安打3打点の活躍し、守備では2盗塁を許さない。

左腕の洗平比呂を先発にリードした。三回、先頭でバッターボックスに立つと、一塁ベンチに「という内角の直球をフルスイング。当たった瞬間に球場全体が本塁打を確信するほどの打球は、左翼席へ大きな弧を描いた。

続く五回1死満塁の場面では、勝ち越し打となった。「前の打席で直球を狙ったから、次は変化球で来るこうまく変化球にバットを合わせて2人を生還にかえし、視野の広さはかなりの相手の出方を待ちの出はなをくじいた。

捕手としては番打者の先入観を意識。「ピッドをつ不れれば、三打は防いだ」と胸を張った。

春夏県大会の決勝では、同じ八戸地区の工大一から三打席ノーヒットに抑えた。「次回で負けたら意味がない」と、リベンジに向けて気合をみなぎらせた。

【準決勝・八学光星－青森山田】八学光星の洗平比呂（左）は最速の行方を巧みに打たせ、ガッツポーズ。青森山田を封じ、チーム史上初の夢

洗平力投 完封劇

「全力で腕振った」

ヒーロー

投球を終えたライバルとの大一番。背番号10がマウンドに躍動した。今大会初先発となった八学光星の2年左腕・洗平比呂が、青森山田打線を6安打に抑える完封劇。仕上げは無四球で「十分過ぎるピッチングをしてくれた」チームを勝たせてくれたのヒーロー。試合の流れを左右しかねない大事な初回。低めの変化球で先頭打者を空振り三振に仕留めると、その勢いのまま三者凡退に抑える最高のマウンドを作り上げた。

試合前、バッテリーを組む藤原天斗とは「四球を出さないこと」を合言葉にした。「制球を乱すと、相手に流れを渡してしまう。ストライクを投げる」という意識。自分は初回に抑えられる傾向にあったので、とにかく全力で腕を振った」と胸をなでおろした。

その後もテンポ良くスライダー、チェンジアップ、カーブを織り交ぜて打者を翻弄。今大会は高めに抜け球を投げ込むシーンが目立ったものの、この日は一転、低めを突く安定したピッチングを披露した。

四回2死、二塁、外野に抜けそうな打球を一塁手の西田太輝が好捕。一走の生還を防止する送球、洗平に投げ込まれた、パッと目に飛び込んだ。「パッ」と思ったら、今春の県大会決勝で敗れた工大一戦。悔しい思いをした。地元せっかく全国で戦いたい、と力を込める。

試合前、日頃から仲良しの工大一のエース、日野と同じ仕上がりを目指した。「制球をもらっている。良いピッチャーに抜けがないという強い気持ちで行く」と主将を奮めた。（千葉雅也）

2023 夏

大会第10日

第105回全国高校野球選手権青森大会は20日、弘前市はるか夢球場で準決勝2試合が行われ、第1シードの工大一と夏連覇を目指す八学光星が決勝に進出した。昨夏の決勝、今春の青森県大会決勝と同一カードとなる。

工大一は投打がかみ合い、6－3で弘前実に勝利。中盤に得点を重ね、粘り強い上げをみせた。八学光星は5－0で青森山田に快勝。2年左腕・洗平比呂が6安打完封した。

26日は休養日。最終日の27日は午後1時から球場で決勝を行い、甲子園出場チームが決まる。（取材班）

高校野球速報

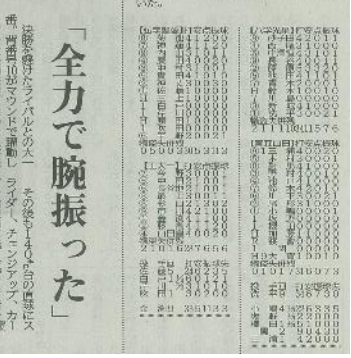
準決勝

弘学聖愛 000 000 030 | 3
工大一　000 230 10× | 6
（弘）佐藤、白戸、芦川、吹田－神丈
（工）金澤－藤島
▷本塁打　杉山（工）
▷二塁打　内山（弘）
▷試合時間　2時間31分
（球審＝木下弘、塁審＝岸田、石田、後藤）

【評】工大一が好機を逃さず、中盤に3点を奪取した。四回に金澤、藤島の連続打で2点を先取。五回は2死一、二塁から杉山の左越え3ランで中押しした。上級生相手に3失点完投。11二塁を奪い、粘りの試合を組み立てた。弘学聖愛は八回、2つの盗塁を絡めて好機を広げ、菊地、相原の連続適時打で3点を返したが、追い上げもそこまでだった。

八学光星 100 130 000 | 5
青森山田 000 000 000 | 0
（八）洗平－鎌塚
（青）小湯、坂野、根田、関、一瀬－応形
▷本塁打　藤原（八）
▷二塁打　櫻庭、秋丸田（八）▷暴投　小湯2（青）
▷試合時間　2時間37分
（球審＝見内、塁審＝小谷、花松、福永）

【評】八学光星が投打で盤石な試合運びを見せた。初回1死二塁、中軸西田の中前適時打で1点を先制。2回は捕球のみ進塁スクイズを見行で加点した。五回には藤原の2点適時二塁打などで3点を奪って突き放した。先発洗平は安定した投球で6安打完封した。青森山田打線は一点打線が相手に封じ込まれ、活ムードでミスが出るなど精彩を欠いた。



デーリー東北新聞社提供